

2012年3月期 決算説明資料



株式会社フィデック
【東証一部 8423】

1. 2012年3月期 連結決算

	ページ
1. 2012年3月期 連結決算	3
2. 債権取扱高及び債権買取収益	4
3. 債権取扱高 業種別	5
4. 業務受託収益の推移	6
5. 金融費用	7
6. 販売管理費	8
7. 営業利益・経常利益推移	9
8. 当期純利益推移	10
9. BSの概況	11

2. 新たな成長ステージへ向けて

	ページ
1. 新社名アクリーティブ	13
2. 2013年3月期の取組み (FPS 1)	14
3. 2013年3月期の取組み (FPS 2)	15
4. 新たなビジネスモデル	16
5. 海外展開	17
6. 事業を支えるインフラ	18
7. 2012年3月期 業績予想 (2012.04.01～2013.03.31)	19

1. 2012年3月期 連結決算

1. 2012年3月期 連結決算

【PL概況】

(単位:百万円)

	2010.3	2011.3	2012.3	増減	前期比
債権取扱高	108,986	119,341	134,568	15,227	112.8%
営業収益	2,028	2,222	2,618	395	117.8%
債権買取収益	1,527	1,588	1,773	185	111.7%
業務受託収益	460	634	844	210	133.2%
その他収益	39	0	0	0	84.2%
金融費用	378	338	317	△ 20	93.8%
金融費用率	18.6%	15.2%	12.1%	-	-
販売管理費	1,575	1,553	1,545	△ 7	99.5%
販管費率	77.7%	69.9%	59.0%	-	-
営業利益	74	330	754	423	228.2%
営業利益率	3.7%	14.9%	28.8%	-	-
経常利益	112	357	784	427	219.4%
経常利益率	5.6%	16.1%	30.0%	-	-
当期純利益	△ 3,393	△ 2,321	708	3,030	-
当期純利益率	-167.3%	-104.5%	27.1%	-	-

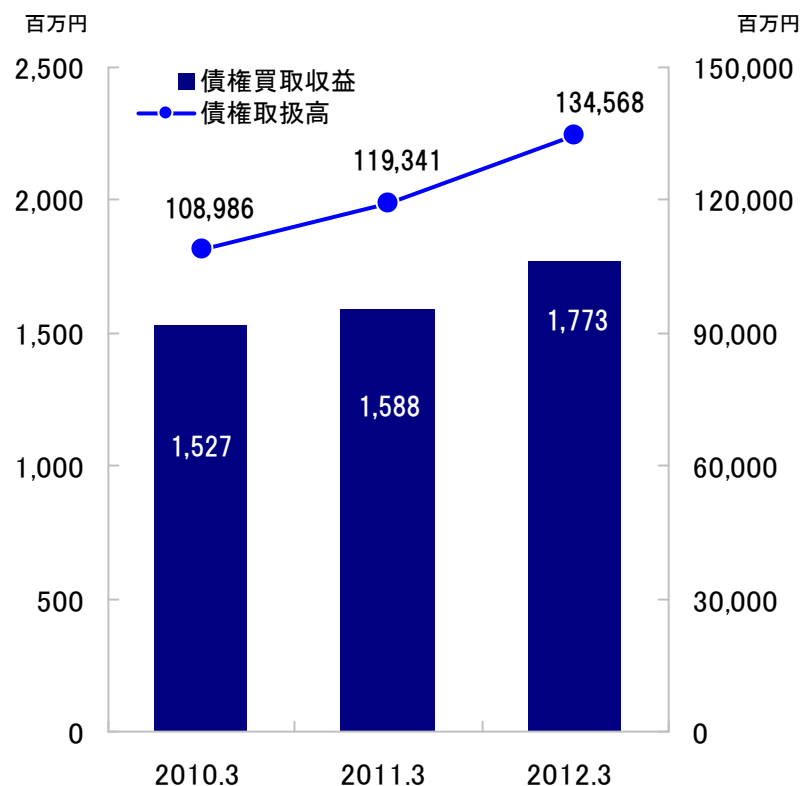
【BS概況】

(単位:百万円)

	2010.3	2011.3	2012.3	増減	前期比
総資産	18,591	16,921	17,300	378	102.2%
負債	16,969	15,624	15,284	△ 339	97.8%
純資産	1,622	1,297	2,015	718	155.4%

2. 債権取扱高及び債権買取収益

債権取扱高・債権買取収益推移



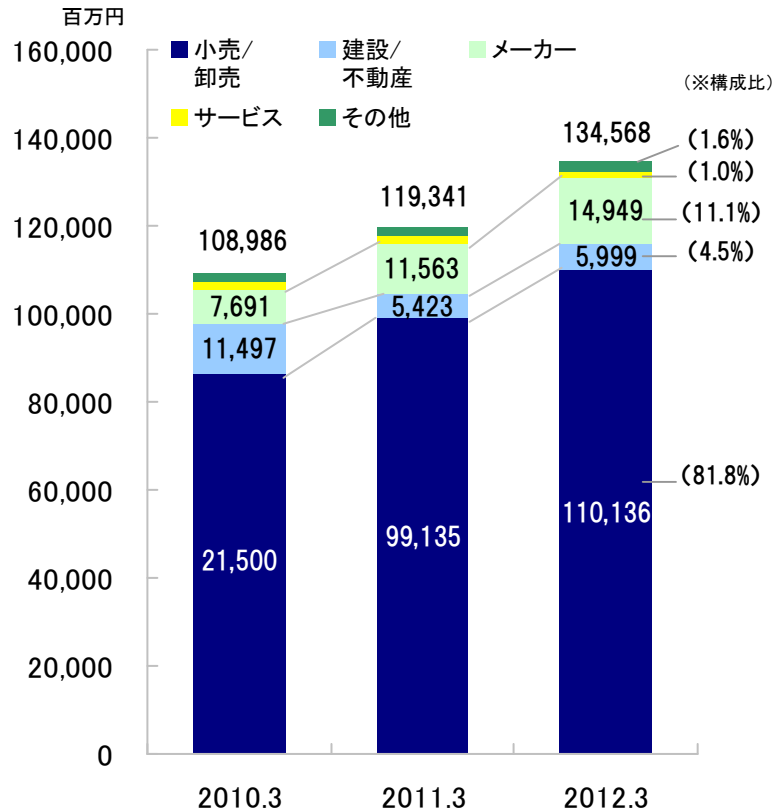
(単位:百万円)

	2010.3	2011.3	2012.3	増減	前期比
債権取扱高	108,986	119,341	134,568	15,227	112.8%
債権買取収益	1,527	1,588	1,773	185	111.7%

- 前期比債権取扱高112.8%、債権買取収益111.7%
- 既存提携先の売上・仕入の拡大、納入企業の利用率アップが増収に寄与

3. 債権取扱高 業種別

業種別 債権取扱高推移



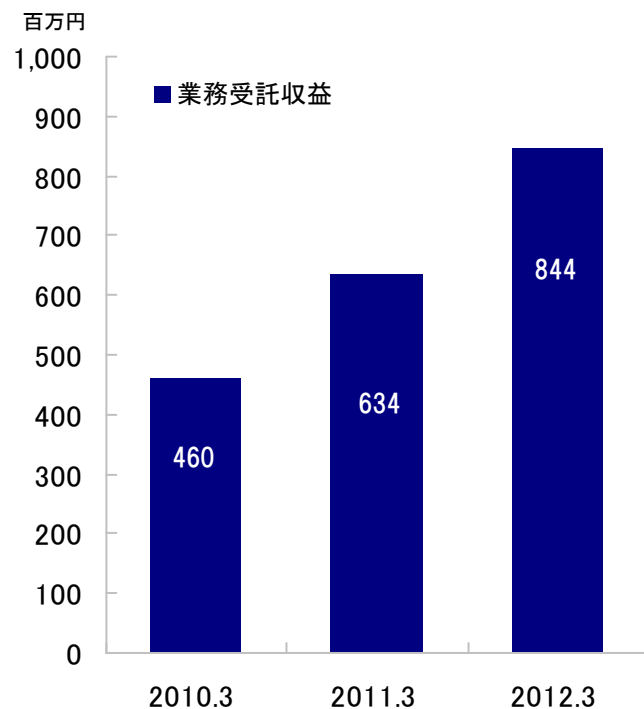
(単位:百万円)

	2010.3		2011.3		2012.3		増減	前期比
	債権取扱高	構成比	債権取扱高	構成比	債権取扱高	構成比		
債権取扱高	108,986	100.0%	119,341	100.0%	134,568	100.0%	15,227	112.8%
小売/卸売	86,233	79.1%	99,135	83.1%	110,136	81.8%	11,001	111.1%
建設/不動産	11,497	10.5%	5,423	4.5%	5,999	4.5%	576	110.6%
メーカー	7,691	7.1%	11,563	9.7%	14,949	11.1%	3,386	129.3%
サービス	1,995	1.8%	1,641	1.4%	1,374	1.0%	△ 266	83.8%
その他	1,568	1.4%	1,578	1.3%	2,108	1.6%	529	133.5%

- 各業種とも概ね債権取扱高が拡大(前期比)
- 特に小売・メーカーの増加が顕著

4. 業務受託収益の推移

業務受託収益推移



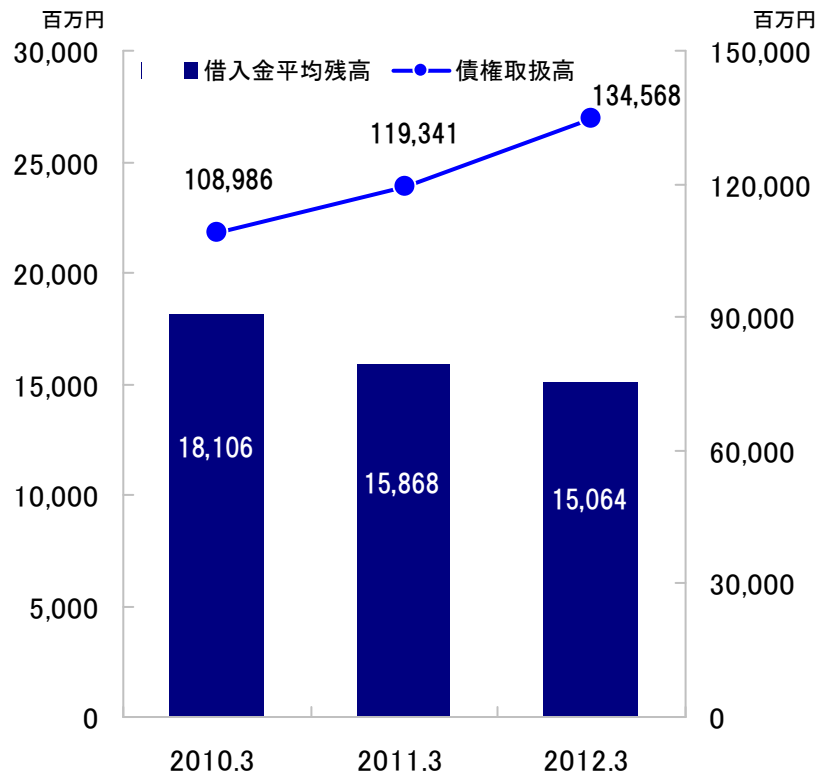
(単位: 百万円)

	2010.3	2011.3	2012.3	増減	前期比
営業収益	2,028	2,222	2,618	395	117.8%
債権買取収益	1,527	1,588	1,773	185	111.7%
業務受託収益	460	634	844	210	133.2%
業務受託収益率	22.7%	28.5%	32.3%	-	-

- 既存提携先の業務拡大に伴い、買掛金の確定業務など受託業務も拡大
- 当期、新規に経理業務を受託開始
- 2012年2月より、OCR(光学式文字読取装置)等の機械化を推進し、伝票処理能力が各段に向上

5. 金融費用

借入金平均残高推移



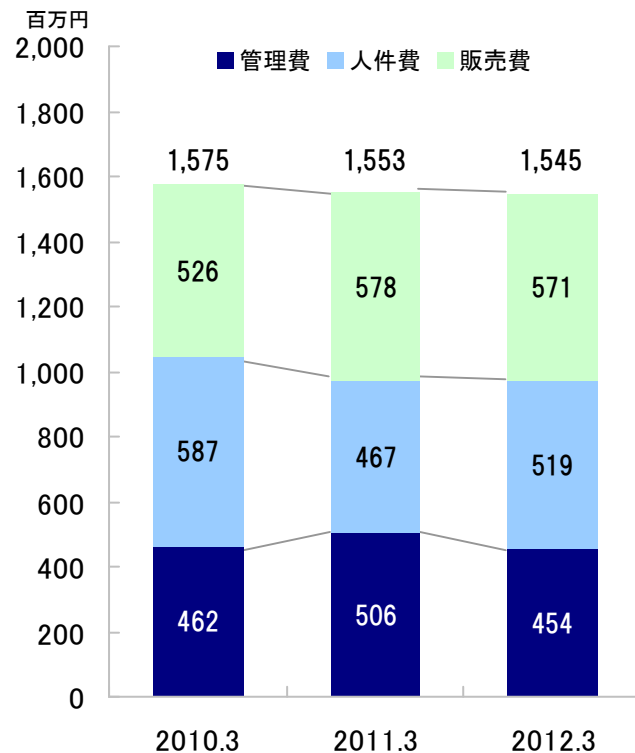
(単位: 百万円)

	2010.3	2011.3	2012.3	増減	前期比
債権取扱高	108,986	119,341	134,568	15,227	112.8%
営業収益	2,028	2,222	2,618	395	117.8%
金融費用	378	338	317	△ 20	93.8%
借入金残高	16,362	15,295	14,440	△ 854	94.4%
借入金平均残高	18,106	15,868	15,064	△ 803	94.9%
金融費用/営業収益	18.6%	15.2%	12.1%	-	-

- 債権取扱高は増加しつつも、効率的な資金運用により、借入金平均残高は減少
- 借入金平均残高が減少したことにより金融費用も減少
- シンジケートローン契約締結(2012年1月27日付) 組成金額13,940百万円

6. 販売管理費

販売管理費推移



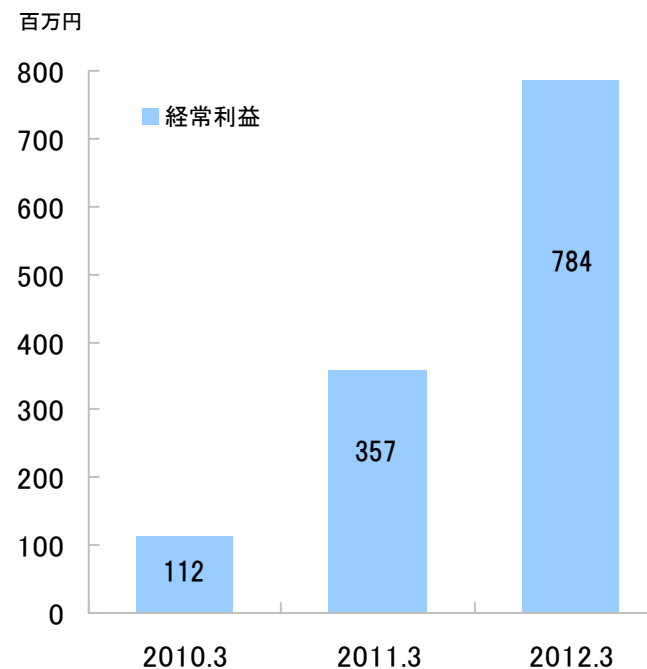
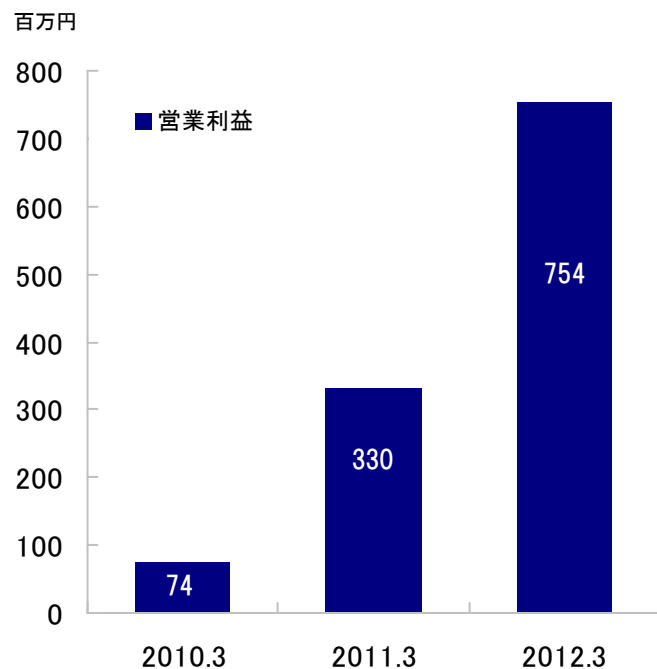
(単位: 百万円)

	2010.3		2011.3		2012.3		増減	前期比
	対営業収益比		対営業収益比		対営業収益比			
営業収益	2,028	100.0%	2,222	100.0%	2,618	100.0%	395	117.8%
金融費用	378	18.6%	338	15.2%	317	12.1%	△ 20	93.8%
販売管理費合計	1,575	77.7%	1,553	69.9%	1,545	59.0%	△ 7	99.5%
販売費	526	25.9%	578	26.0%	571	21.8%	△ 6	98.8%
人件費	587	29.0%	467	21.0%	519	19.8%	51	111.1%
管理費	462	22.8%	506	22.8%	454	17.4%	△ 52	89.7%
営業利益	74	3.7%	330	14.9%	754	28.8%	423	228.2%
従業員(人)	63	-	53	-	60	-	7	113.2%
臨時従業員(人)	141	-	138	-	136	-	△ 2	98.6%

- 経理業務受託拡大(業務受託収益+210百万円)に伴い、人件費は微増
- 本社機能の一部移転による家賃削減等、管理費は着実に減少
- 販売管理費合計は、ほぼ横ばい

7. 営業利益・経常利益

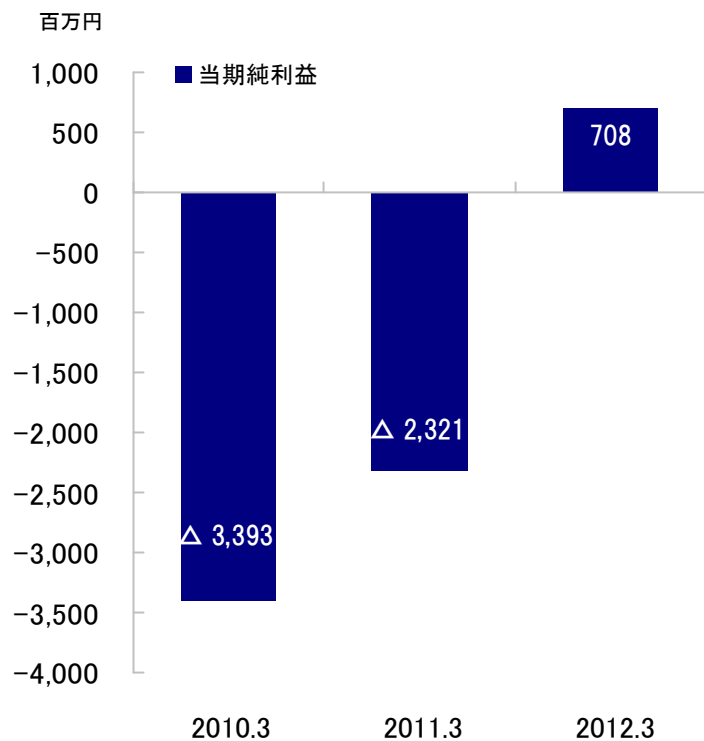
営業利益・経常利益推移



- 既存提携先の売掛債権買取りが増加、業務受託も好調に推移
- 営業収益は拡大しながらも、販売管理費は前年並み
- 結果、営業利益・経常利益ともに大幅に増加

8. 当期純利益推移

当期純利益推移



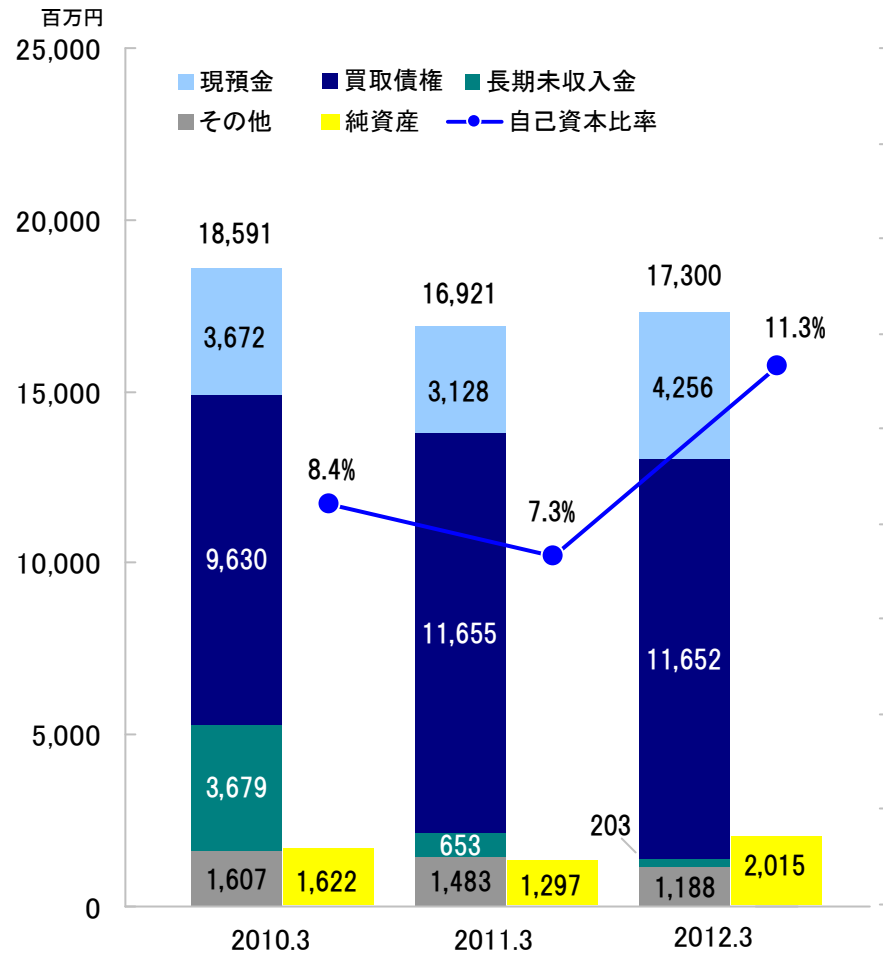
(単位: 百万円)

	2010.3	2011.3	2012.3	増減	前期比
営業外収益	62	54	40	△ 13	74.8%
営業外費用	24	27	10	△ 17	37.2%
経常利益	112	357	784	427	219.4%
特別利益	19	9	0	△ 9	0.0%
特別損失	3,537	2,812	86	△ 2,725	3.1%
税引前当期純利益	△ 3,405	△ 2,444	698	3,143	-
法人税等	△ 11	△ 123	△ 9	113	-
当期純利益	△ 3,393	△ 2,321	708	3,030	-

- 不良債権処理がほぼ完了し、特別損失も大幅減少
- 当期純利益は4期ぶりに黒字転換

9. BSの概況

資産・純資産推移



(単位: 百万円)

	2010.3	2011.3	2012.3	増減	前期比
総資産	18,591	16,921	17,300	378	102.2%
純資産	1,622	1,297	2,015	718	155.4%
自己資本比率	8.4%	7.3%	11.3%	-	-

- 期末時点の買取債権残高はほぼ前年並み
- 長期未収入金は回収が進み大幅に減少
- 利益の積み上がりにより純資産は増加
- 結果、自己資本比率は11.3% (+4.0P)

2. 新たな成長ステージへ向けて

商号変更

- 不良債権処理がほぼ完了
- 連結純利益、4期ぶりに黒字転換

新たな成長ステージに向けて

当グループの企業理念である「顧客最優先主義」に基づき、
『顧客と共生し、共に成長し続ける企業』でありたいという強い意思を込めて

アクリーティブ株式会社

(Accretive Co., Ltd)

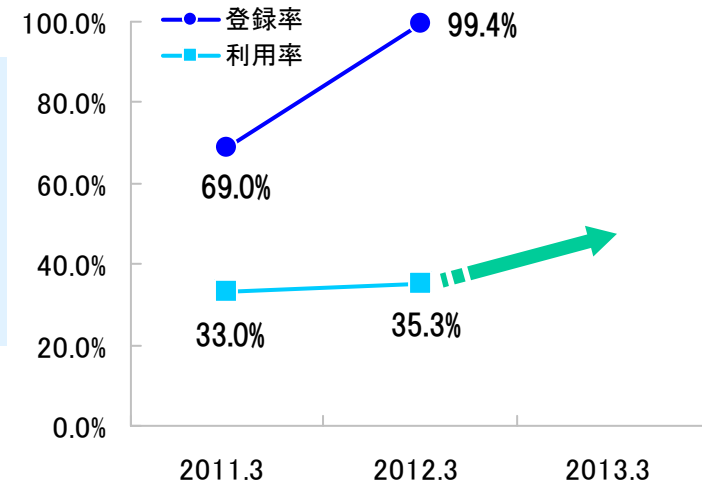
に、社名変更



※ 商号変更は、6月開催予定の定時株主総会における決議を条件に、7月1日付で実施予定。

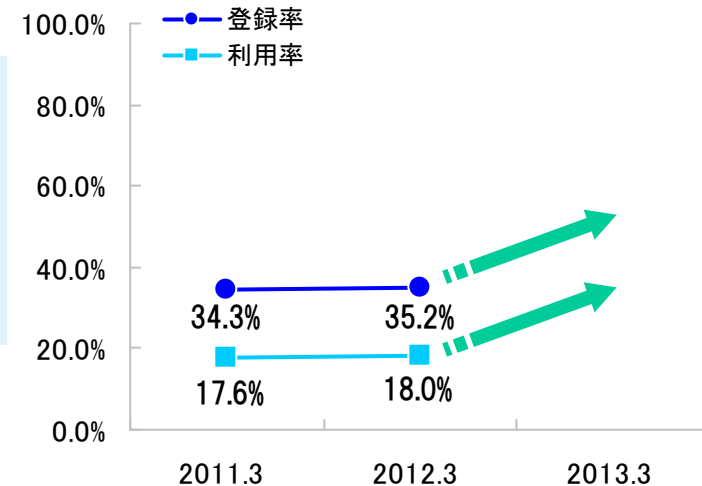
ドン・キホーテグループとの取組み

- 登録率はほぼ100%を達成
- ドイト、長崎屋といったグループ会社への積極的な働きかけを行い、更なる利用率向上を図る



その他既存提携先との取組み

- その他既存提携先の登録率及び利用率はほぼ横ばい
- 今後、既存提携先のニーズに対応しながら、登録率及び利用率の更なる向上を目指す



新規提携先の確保

- ▶ 小売・サービス業といった業種向けに営業活動を積極展開
- ▶ 顧客ニーズに柔軟に対応するサービスの拡充
(支払代行・立替払い・一括支払、期日延長)

納入企業向けへの営業強化

- ▶ 納入企業からの資金繰りニーズに積極的に対応
- ▶ 支払企業の与信を保証会社と連携して担保するスキームを構築中

運送事業者向け自動車リース

- 運送業を営む個人事業主に向けた配送車のリースを実施予定
- 業界専門のコンサル会社及び運送会社との協業により、リスクを最小化したファイナンススキームを検討中



FC向け店舗改装資金のファイナンス

- チェーン展開するFC店舗向けに、店舗改装資金のファイナンスを実施予定
- フランチャイザー及び金融機関との協業により、FPSを組込んだサービスの提供を検討中



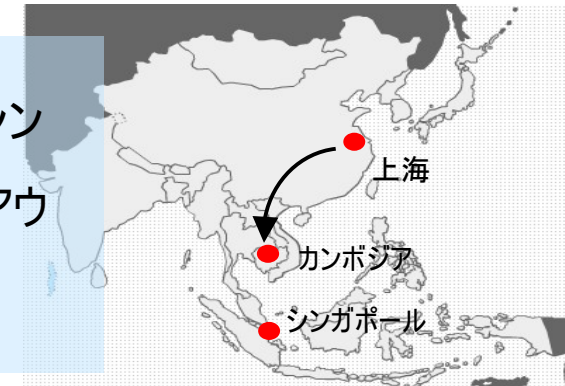
Before



After

海外拠点の移転

- 金融サービスにおける海外進出の足がかり及びアウトソーシングにおける競争力強化を目的に、上海からカンボジアへのアウトソーシングセンターの移設を計画中



東南アジア事業立ち上げ準備

- ASEANを中心とした東南アジアにてFPS事業の立ち上げを検討中
- 今後はシンガポールに東南アジアのヘッドクォーターを置き、アジア圏進出に備える予定



資金調達の強化

- 新規取引金融機関との取り組み強化
- シンジケートローン以外の資金調達の多様化
- 流動化枠の増加による資金の確保

システムインフラの整備

- 基幹システム「Apac」の追加開発
納入企業向けポータルサイトによる利用率向上
- OCR(光学式文字読取装置)の導入
伝票処理能力の大幅アップ

納入企業様向けポータルサイト

FPS (フレックスペイメントサービス)



ログイン

納入企業様ID

パスワード

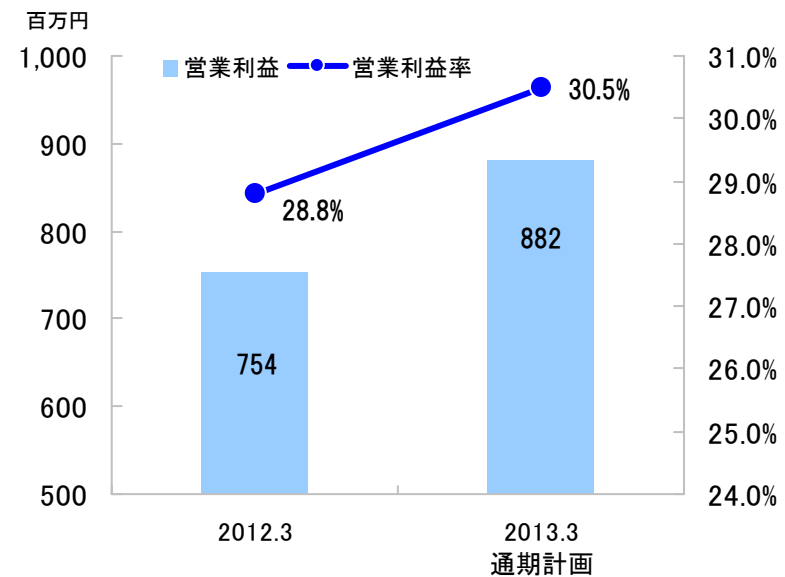
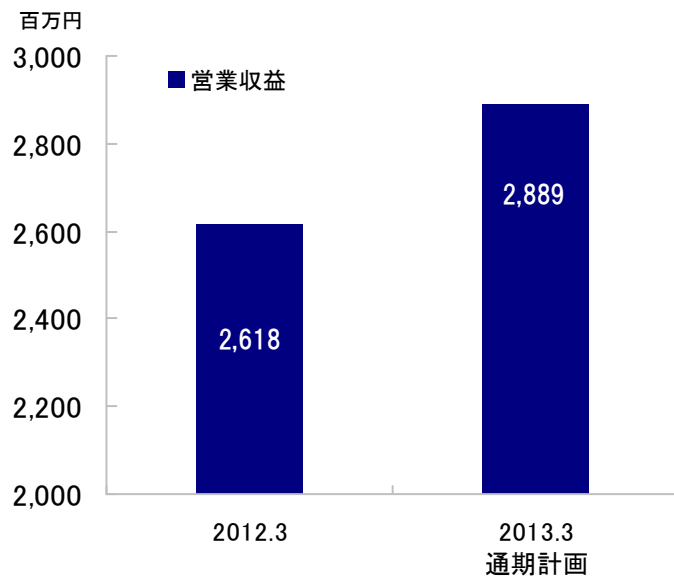
ログイン

Copyright © 2012 Fidec Corporation. All Rights Reserved.

通期業績推移

(単位:百万円)

	2012.3	2013.3 通期計画	増減	前期比
営業収益	2,618	2,889	271	110.4%
営業利益	754	882	128	117.0%
経常利益	784	900	115	114.8%
当期純利益	708	824	115	116.4%
営業利益率	28.8%	30.5%	-	-



将来見通しに関する注意事項

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、
リスクと不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、
予想対比変化する可能性があることにご留意ください。

- 資料に関するお問合せ先
株式会社フィデック 管理部
電話番号 03-5667-1760
E-mail ir@fidec.co.jp